

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公表番号】 特表 2002-542147 (P2002-542147A)
 【公表日】 平成 14 年 12 月 10 日 (2002.12.10)
 【出願番号】 特願 2000-587755 (P2000-587755)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)
A 6 1 K 31/04 (2006.01)
A 6 1 K 31/137 (2006.01)
A 6 1 K 31/198 (2006.01)
A 6 1 K 31/4245 (2006.01)
A 6 1 K 31/565 (2006.01)
A 6 1 P 1/00 (2006.01)
A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/06
 A 6 1 K 31/04
 A 6 1 K 31/137
 A 6 1 K 31/198
 A 6 1 K 31/4245
 A 6 1 K 31/565
 A 6 1 P 1/00
 A 6 1 K 37/02

【手続補正書】
 【提出日】 平成 18 年 12 月 5 日 (2006.12.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 特許請求の範囲
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、以下：

ホスホジエステラーゼ I I 型インヒビター、ホスホジエステラーゼ I V 型インヒビター、ホスホジエステラーゼ V 型インヒビター、非特異的ホスホジエステラーゼインヒビター、スーパーオキシドスカベンジャー、 β -アドレナリン作動性アゴニスト、cAMP 依存性プロテインキナーゼアクチベーター、 α_1 -アドレナリン作動性アンタゴニスト、エストロゲン、ATP 感受性 K^+ チャンネルアクチベーターおよび平滑筋弛緩剤、

からなる群より選択される第 2 の薬剤を、薬学的に受容可能なキャリアと混合して、NO ドナーを含む、組成物。

【請求項 2】 前記 NO ドナーが、以下：

ニトログリセリン、L-アルギニン、SNAP、GSNO および SIN-1、
 からなる群より選択され、そして前記第 2 の薬剤が、以下：

スーパーオキシドジスムターゼおよび化学的スーパーオキシドジスムターゼ模倣物、

からなる群より選択される、スーパーオキシドスカベンジャーである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】 前記キャリアが、局所適用のために処方される、請求項 1 に記載の

組成物。

【請求項 4】 前記第 2 の薬剤が、以下：

ホスホジエステラーゼ I I 型インヒビター、ホスホジエステラーゼ I V 型インヒビター、ホスホジエステラーゼ V 型インヒビターおよび非特異的ホスホジエステラーゼインヒビター、

からなる群より選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】 前記第 2 の薬剤が、 β -アドレナリン作動性アゴニストからなる群より選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】 前記 β -アドレナリン作動性アゴニストが、以下：

β_2 -アドレナリン作動性アゴニストおよび β_3 -アドレナリン作動性アゴニスト、

からなる群より選択される、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】 前記第 2 の薬剤が、ATP 感受性 K^+ チャンネルアクチベーターからなる群より選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、ホスホジエステラーゼインヒビターおよび薬学的に受容可能なキャリアを含む、組成物。

【請求項 9】 前記ホスホジエステラーゼインヒビターが、以下：

ホスホジエステラーゼ I I 型インヒビター、ホスホジエステラーゼ I V 型インヒビター、ホスホジエステラーゼ V 型インヒビターおよび非特異的ホスホジエステラーゼインヒビター、

からなる群より選択される、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】 請求項 9 に記載の組成物であって、該組成物が、以下：

β -アドレナリン作動性アゴニスト、cAMP 依存性プロテインキナーゼアクチベーター、 α_1 -アドレナリン作動性アンタゴニスト、L 型 Ca^{2+} チャンネルブロッカー、エストロゲン、ATP 感受性 K^+ チャンネルアクチベーターおよび平滑筋弛緩剤、

からなる群より選択される薬剤をさらに含む、組成物。

【請求項 11】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、 β -アドレナリン作動性アゴニストおよび薬学的に受容可能なキャリアを含む、組成物。

【請求項 12】 前記 β -アドレナリン作動性アゴニストが、以下：

β_2 レセプター、 β_3 レセプターおよびそれらの組み合わせ、

からなる群より選択されるレセプターアイソフォームに特異的である、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】 前記 β -アドレナリン作動性アゴニストが、イソプロテレノールである、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 14】 請求項 11 に記載の組成物であって、該組成物が、以下：cAMP 加水分解性 PDE インヒビター、非特異的 PDE インヒビター、 α_1 -アドレナリン作動性アンタゴニスト、エストロゲン、L 型 Ca^{2+} チャンネルブロッカー、ATP 感受性 K^+ チャンネルアクチベーターおよび平滑筋弛緩剤、

からなる群より選択される薬剤をさらに含む、組成物。

【請求項 15】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、以下：

ATP 感受性 K^+ チャンネルアクチベーターおよび薬学的に受容可能なキャリア、を含む、組成物。

【請求項 16】 請求項 15 に記載の組成物であって、該組成物が、以下：cAMP 依存性プロテインキナーゼアクチベーター、エストロゲン、 α_1 -アドレナリン作動性アンタゴニスト、L 型 Ca^{2+} チャンネルブロッカーおよび平滑筋弛緩剤、

からなる群より選択される薬剤をさらに含む、組成物。

【請求項 17】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、以下：

α_1 -アドレナリン作動性アンタゴニストおよび薬学的に受容可能なキャリア、を含む、組成物。

【請求項 18】 前記組成物が、以下：

cAMP加水分解性ホスホジエステラーゼインヒビター、エストロゲンおよび平滑筋弛緩剤、

からなる群より選択される薬剤をさらに含む、請求項 17 に記載の組成物。

【請求項 19】 前記 cAMP加水分解性ホスホジエステラーゼインヒビターが、ホスホジエステラーゼ I V 型インヒビターである、請求項 17 に記載の組成物。

【請求項 20】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、以下：

cAMP依存性プロテインキナーゼアクチベーターおよび L 型 Ca^{2+} チャンネルブロッカー、を含む、組成物。

【請求項 21】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、以下：

cGMP依存性プロテインキナーゼアクチベーターおよび薬学的に受容可能なキャリア、を含む、組成物。

【請求項 22】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、必要に応じて、平滑筋弛緩剤と混合して、非特異的環状ヌクレオチド依存性プロテインキナーゼアクチベーターを含む、組成物。

【請求項 23】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、治療的に有効な量の NO ドナーを含有し、そして該組成物が、以下：

ホスホジエステラーゼ I I 型インヒビター、ホスホジエステラーゼ I V 型インヒビター、ホスホジエステラーゼ V 型インヒビター、非特異的ホスホジエステラーゼインヒビター、スーパーオキシドスカベンジャー、 β -アドレナリン作動性アゴニスト、cAMP依存性プロテインキナーゼアクチベーター、 α_1 -アドレナリン作動性アンタゴニスト、エストロゲン、L 型 Ca^{2+} チャンネルブロッカー、ATP 感受性 K^+ チャンネルアクチベーターおよび平滑筋弛緩剤、

からなる群より選択される第 2 の薬剤と組み合わせた投与に適切である、方法。

【請求項 24】 前記 NO ドナーおよび前記第 2 の薬剤が、組み合わせて投与される、請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 25】 前記第 2 の薬剤が、前記 NO ドナーを含有する組成物の投与の前に投与されるために適切である、請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 26】 前記肛門直腸障害が、裂肛である、請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 27】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、ホスホジエステラーゼインヒビターを含む治療的に有効な量の組成物を含有する、組成物。

【請求項 28】 請求項 27 に記載の組成物であって、該組成物が、以下：

β -アドレナリン作動性アゴニスト、cAMP依存性プロテインキナーゼアクチベーター、 α_1 -アドレナリン作動性アンタゴニスト、エストロゲン、L 型 Ca^{2+} チャンネルブロッカー、ATP 感受性 K^+ チャンネルアクチベーターおよび平滑筋弛緩剤、

からなる群より選択される、第 2 の薬剤をさらに含有する、組成物。

【請求項 29】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、治療的に有効な量の β -アドレナリン作動性アゴニストを含有する、組成物。

【請求項 30】 請求項 29 に記載の組成物であって、該組成物が、以下：

cAMP依存性プロテインキナーゼアクチベーター、 α_1 -アドレナリン作動性アンタゴニスト、エストロゲン、L 型 Ca^{2+} チャンネルブロッカー、ATP 感受性 K^+ チャンネルア

クチペーターおよび平滑筋弛緩剤、

からなる群より選択される、第2の薬剤をさらに含有する、組成物。

【請求項31】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、治療的に有効な量の、以下：

A T P感受性カリウムチャンネルオープナーおよびc A M P媒介性肛門括約筋弛緩を促進する薬剤、

を含有する、組成物。

【請求項32】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、治療的に有効な量のカリウムチャンネルオープナーを含有し、ここで、該治療的に有効な量が、該被験体の肛門括約筋の緊張過度を減少させる、組成物。

【請求項33】 肛門直腸障害の処置のため、およびそれに伴う疼痛を制御するための組成物であって、該組成物が、治療的に有効な量の、以下：

薬学的に受容可能なキャリア、および該被験体の肛門括約筋の組織中で、環状グアニジナーリン酸または環状アデノシンーリン酸のレベルを増加させる薬剤、

を含有し、それによって、該被験体の該肛門括約筋の過度の緊張過度を減少させる、組成物。